2020年1月26日			
差枚	約+425枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO、
押忍！番長3

実戦レポート

並び順入場、交換ギャップ無しの営業形態など、この企画でお邪魔しているホールの中でも特徴的な条件での実戦となるので、より一層の気合いを胸に、でも整理券配布の時間ギリギリにホールへ到着すると、もらった番号は「49番」。さて、何が空いているかな…？
けっこう台数が多いホールなので、最新機種や定番の人気機種以外は、そこそこ自由に選べそうだ。そんな中で座ったのは、先月に全台系機種でめっちゃ出ていた「パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO」。2か月続けて全台系になることは今までほとんど無かったが、人気機種だし1台くらいは高設定があっても良いだろう、という感じかな。

打ち始めると、2つ隣の台がさっそく1周期目で当たって、しかもエピソードBIG。いかにも高設定を匂わせる挙動で注目を集めると、続いてオレの台も1周期目で幸先よくBIG。以降も3周期目、1周期目、2周期目（CCでV）と、かなり早い当選が続く。そして自分の台をはじめ、見える範囲では弱レア役の出現率も相当に優秀だ。残念ながらボーナスからのAT当選に恵まれず出玉は全く無いが、さすがにこの展開ではヤメられないだろう、というかガンガン回すのみ！と、意を決した次の当りが、まんまと7周期目。さらには、途中満席にまでなっていたエウレカ3のシマは、1人、2人と離脱する者が増え始めて、遂には最初にエピソードBIGを引いた台とオレの台、2人きりとなってしまった。さすがにこうなってしまっては、途中まで「もしかして2ヵ月連続で全台系？」と淡い期待を抱いていたのも諦めざるを得ない。そして、もしこのシマに高設定が入っているとするなら、その第一候補はオレの台よりも、エピソードBIGを引いている台の方が上だろう。

時刻は夕方、ここへ来てようやく他の台への移動を考えたオレは、ホール内を何周かしてみてある事に気付いた。今日の当り末尾はいつもにも増して、かなり分かりやすく出ているな…！　そしてその当り末尾に該当するのが、まさにあのエピソードBIGを引いていたエウレカ3だ。じゃあ、その該当末尾に空き台はないか？　というところだが、オレがすぐ気付いたぐらいだから、当然他のお客さんも気付いている。該当末尾が「100%高設定」という確信はないので、悪い履歴で捨てられている台もあるのだが、そんな中でまだ可能性があるとしたら…これか？　設定5でも展開が悪ければ設定1のような動きをしてしまう「押忍！番長3」だ。とにかく頑張って当てて、ボーナスを引いて絶頂入るかどうか…！　その一心のみで打ち始めると、本当に早めに当たって、一発目のボーナスが絶頂対決へ突入。この一撃だけで1500枚以上のメダルを獲得し、ウソのような逆転劇となったのであった。いやぁ～、諦めなくて良かった。